

普通建設事業費 87億円に大幅増額 一般会計 420億円の大型予算

平成22年度予算が成立した。この予算には、先に発表された「佐渡市将来ビジョン」に基づく「成長力強化戦略」関連予算が盛り込まれている。その規模は合併特例債事業を含めて、総額420億円という大型予算（昨年比12億円増）である。なかでも普通建設事業費は、平成21年度補正補予算（繰越明許費）を含めると87億円（26億円増）に達する額になっている。今も地方を覆う不況の波は止みそうにない、こうした状況下での大型予算である。一方、市税等が逡減するなか財源を市債（8億9千万円）に依存する体質に変わりない、来年度以降も継続的に大型予算が組めるか疑問である。平成22年度予算の概略について報告したい。

成長力強化戦略を佐渡経済の起爆剤に

成長力強化戦略事業とは、昨年発表された「佐渡市将来ビジョン」で謳われた「佐渡の成長力を高めるため」の主要事業のことである。平成22年度予算の最大の特徴は、この成長力強化戦略と、普通建設事業費そして合併特例債事業の三つである。成長力強化戦略の主な内容は次の通りだ。

農林水産業の振興では、佐渡版所得補償制度の創設、生物多様性戦略によるブランド化と販売促進。観光等交流人口関連では、世界遺産登録やトキ・原生林・コブダイなどによる誘客。交通インフラの整備では、佐渡空港の2,000m化や航路の利便性向上と運賃の低廉化。安全な地域づくりでは、限界集落などの地域力の掘り起こしや、医療・介護・福祉が連携した拠点づくり。次世代を担う人材育成では、安心して出産・子育てができる環境づくりや、子供たちに「佐渡学」を通して、必要な人材を育成するなどである。

これらの予算の方向性は賛成だ。しかし大型予算を組む一方で、学校・保育所等の統合や公共施設の整理廃止、潜在的な介護施設の不足など、市民生活の不安がいっぱいだ。

予算の適切な執行と検証が必要だ

大幅増額となった普通建設事業費については、補助事業の減少分を市単独事業で規模を確保する、平成22年度事業と22年度補正で事業の谷間を是正し、きめ細やかな事業展開により地元企業への受注に配慮するとしている。

その金額は、平成22年度が72億円、平成21年度補正15億円で、総額87億円となっている。その主な事業内容は、LED防犯灯設置事業などの地域経済活性化事業が6億9千万、佐渡病院改築事業補助などの合併特例債事業分として29億5千万、道路橋りょう改良工事など、きめ細かな事業では50億8千万円が予算化されている。（裏面）

一方、合併特例債事業は大きく圧縮され、その内容は小中学校の改築工事に9億7千万円、陸上競技場整備費で4億円などで、「佐渡市将来ビジョン」で見込んだ設定額の46億7千万円を下回り、総額31億9千万円となっている。

予算はできた、あとは適正な執行と検証が必要である。

平成22年度一般会計予算構成表（目的別）

＜歳入＞		単位：千円 %				
項目	22年度予算	構成比	21年度予算	構成比	差額	削減率
市税・贈与税	6,036,058	14.4	6,101,941	15.0	- 65,883	1.1
地方交付税	20,600,000	49.0	20,100,000	49.3	500,000	2.5
その他交付金	917,000	2.2	928,000	2.3	- 11,000	1.2
分担金負担金	386,916	0.9	393,578	1.0	- 6,662	1.7
国庫支出金	2,883,395	6.9	2,380,509	5.8	502,886	21.1
県支出金	2,744,493	6.5	2,771,959	6.8	- 27,466	1.0
繰入金	162,335	0.4	609,641	1.5	- 447,306	73.4
諸収入	1,363,219	3.2	1,458,504	3.6	- 95,285	6.5
市債	5,558,900	13.2	4,671,700	11.5	887,200	19.0
手数料・その他	1,377,684	3.3	1,384,168	3.4	- 6,484	0.5
合計	42,030,000	100.0	40,800,000	100.0	1,230,000	3.0
＜歳出＞		単位：千円 %				
項目	22年度予算	構成比	21年度予算	構成比	差額	削減率
議会費	213,156	0.5	210,384	0.5	2,772	1.3
総務費	4,400,619	10.5	4,364,331	10.7	36,288	0.8
民生費	8,995,759	21.4	8,162,750	20.0	833,009	10.2
衛生費	5,888,440	14.0	4,341,538	10.6	1,546,902	35.6
労働費	49,449	0.1	6,669	0.0	42,780	641.5
農林水産費	3,423,762	8.1	3,765,498	9.2	- 341,736	9.1
商工費	2,000,548	4.8	1,999,202	4.9	1,346	0.1
土木費	3,408,956	8.1	3,636,787	8.9	- 227,831	6.3
消防費	1,759,223	4.2	2,053,137	5.0	- 293,914	14.3
教育費	3,982,893	9.5	4,068,665	10.0	- 85,772	2.1
公債費	7,560,838	18.0	7,847,845	19.2	- 287,007	3.7
災害復旧・他	346,357	0.8	343,194	0.8	3,163	0.9
合計	42,030,000	100.0	40,800,000	100.0	1,230,000	3.0

議会の内・外 こぼれ話

大滝小と小村小学校の閉校式に出席した。式典の終わりには子供たちが感謝の演技を披露した。大滝小は「大崎ツ子太鼓」、村山小は創作劇である。閉校式という重い式典での気迫に満ちた無心の演技である、多くの人が感動し涙を流す人もいた。

小村小学校の式典では、生徒全員が学校の思い出を話す場面があり、学校生活の楽しさが語られた。東京から来たある子供は「19人全員で遊べる小村小が大好きです」と言っていた。

この子供たちは、大人たちが決めた閉校を非難していないし、羽茂小学校へ移ることを嫌っているのではない。ただ、心から19人の小村小学校が好きなのだ。子供が「学校が好き」だという、これ以上の教育環境があるだろうか、心をうつ言葉である。

私はこの統合案に賛成した。それが正しかったか判らない。

廃校や桜吹雪の他になし 假屋半兵衛